



山火事にとる被害跡地（写真提供：岡山県）

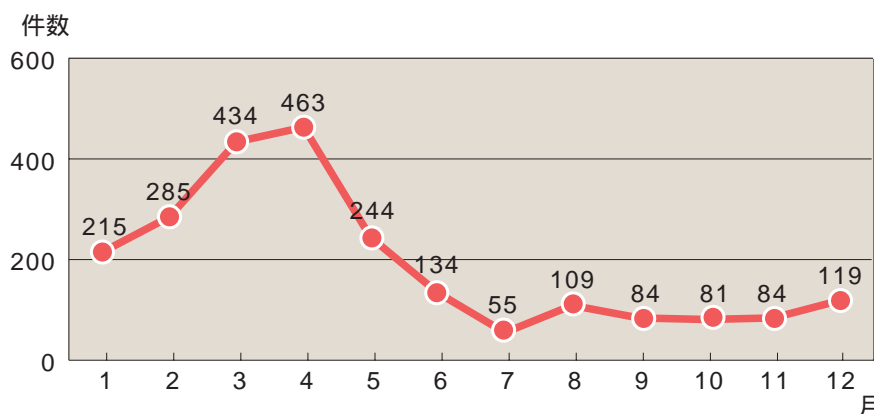
～山火事は 地球の未来も 燃やします～  
平成20年  
全国山火事予防運動

林野庁と消防庁の主唱により、昭和44年からスタートした  
「全国山火事予防運動」が今年も実施されています。  
空気が乾燥する冬から春にかけては、一年の中でも最も山火事が発生しやすい時期です。  
皆様には、山火事の予防について御理解と御協力をお願いします。

表 林野火災の現状

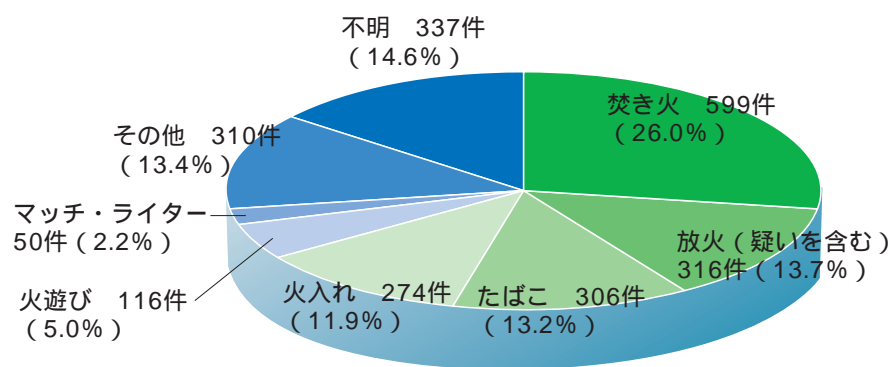
区分/年次	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平均
出火件数 (件)	3,343	1,810	2,592	2,215	1,576	2,307
焼損面積 (ha)	2,634	726	1,568	1,116	829	1,375
損害額 (百万円)	1,447	292	809	868	134	710

グラフ 1 月別林野火災発生件数 (平成 14 ~ 18 年の平均)



資料:「消防白書」に基づいて作成

グラフ 2 原因別林野火災発生件数 (平成 14 ~ 18 年の平均)



資料:「消防白書」に基づいて作成



平成 20 年  
全国山火事予防運動のポスター

## 山火事の予防意識を高めて 予防対策を効果的に推進

昭和四四年から始まった「全国山火事予防運動」は、国民の皆さんに山火事予防意識を高めていただくとともに、予防対策を強化し森林の保

全や地域の安全に資することを目的としています。今年の「全国山火事予防運動」は、三月一日から七日までを統一実施期間として、春季全国火災予防運動に合わせて実施していきます。

毎年、この運動を推進するための

統一標語が選定されますが、今年から全国から集まった約八〇〇通の中から「山火事は 地球の未来も 燃やします」(鹿児島県大口市立山野中学校二年 淵脇史圭さんの作品)が選ばれました。期間中、山火事予防ポスターの掲示やテレビ、ラジ

オ、新聞などを介した広報活動により、火気の取り扱いに関する留意点等、山火事予防に効果的な事項について皆さんに広く呼びかけをしています。また、関係機関による森林パトロールの実施によって山火事の未然防止や早期発見に努めるなど、さまざまな取組が行われています。

これらの取組は、「全国山火事予防運動」の統一実施期間内だけでなく、全国各地域の山火事の発生状況に合わせて効果的な時期に実施されています。

季節風が強く、空気が乾燥している冬から春にかけては山火事が発生しやすい時期です(グラフ1参照)。今後とも皆さんには、山火事予防の一層の推進について、御理解と御協力をお願いします。